

8

骨粗しょう症検診

1 概 要

1] 検査方法

定量的超音波測定法（QUS）により踵骨を測定した。

2] 判定基準

	判 定 基 準 値
異常なし	同一年齢平均骨量の90%以上
要 指 導	同一年齢平均骨量の80%以上90%未満
要 精 検	同一年齢平均骨量の80%未満

2 実施状況

表1 判定別実施状況

		受診者数	異常なし (%)	要指導 (%)	要精検 (%)
中学1年生	男	50	36 (72.0)	14 (28.0)	0 (0.0)
	女	33	33 (100.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	計	83	69 (83.1)	14 (16.9)	0 (0.0)
中学3年生	男	51	33 (64.7)	17 (33.3)	1 (2.0)
	女	55	52 (94.5)	3 (5.5)	0 (0.0)
	計	106	85 (80.2)	20 (18.9)	1 (0.9)
総 数	男	101	69 (68.3)	31 (30.7)	1 (1.0)
	女	88	85 (96.6)	3 (3.4)	0 (0.0)
	計	189	154 (81.5)	34 (18.0)	1 (0.5)